

授業科目名	解剖生理学			科目コード	F113-10				
科目区分	専門科目 - 栄養士専門基礎科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	田淵 英一					
実務経験	1987年より、フランス国立科学研究所、富山医科薬科大学医学部、富山医科薬科大学大学院医学系研究科で勤務してきた解剖生理学系研究経験を活かし、解剖生理学の講義および実験について解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	解剖生理学実験						
関連科目	病理学								
資格等 取得との関連	栄養士免許・栄養教諭二種免許の各資格に必須								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造（解剖学）と機能（生理学）について知り、正しく理解する。また、様々な機能を持つ一個体が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかを理解する。これにより、ヒトを対象とする栄養学に必要な基本的医学知識および理解を獲得する。								
学習目標	栄養士として必要な人体の構造および機能の概要を知り、理解する。								
キーワード	解剖、生理、ヒト、遺伝、細胞、臓器、医学								
テキスト・ 参考書等	佐藤昭夫、佐伯由香著 人体の構造と機能 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能を説明できる。								
LO-2	栄養士が関わる解剖生理学系の専門技術や技法を習得している。								
LO-3	分子・遺伝子レベル、細胞レベル、臓器レベルで、ヒトの成り立ちを考えることができる。								
LO-4	授業を通して、自分自身を含め、人間が自然の"理"の中で生きていることへの関心をもっている。								
LO-5	人体の構造と働き、さらには人間社会の成り立ちの基本がわかることにより、社会的能力の必要性がわかる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	40								40
LO-2	10								10
LO-3	30								30
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 身体の構造と仕組みについての知識度と理解度で判定します。 採点した答案用紙を、成績入力後に返却している。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	総論：ヒトはどのような存在なのか。進化論を基本として考える。 臓器：身体を構成している臓器の名称とはたらきの概要を理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	180分
第2回	細胞・組織：細胞や組織の維持に関わるホメオスタシスの概念、細胞の構造と仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第3回	遺伝子：遺伝子によるタンパク質合成の仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	180分
第4回	運動：神経系、骨格筋、骨格、関節の構造と機能の基本を知る。また、これら臓器により遂行される運動の基本を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第5回	神経系：神経系の分類、ニューロンの構造と働き、静止・活動電位について知る。 自律神経：交感神経および副交感神経の働きを知る。 脳：ヒトの精神的活動の多くを担う大脳皮質の機能の概要を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第6回	感覚：感覚刺激の種類、特徴を知り、感覚受容の基本的な仕組みを理解する。 聴覚、視覚：人間が持つ感覚のうち、とくに重要な聴覚および視覚の働きを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第7回	循環：心臓、血管系（動脈と静脈）、リンパ管の基本的構造と機能を理解する。 血液：血球成分（赤血球、白血球、血小板）および血漿成分の基本的な種類、構造、機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	180分
第8回	免疫：白血球のうち、リンパ球による働きを免疫という。その免疫の働きを理解する。 抗原抗体反応、血液型について理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	180分
第9回	体液の組成、水分の出納バランスの概要を理解する。 呼吸：呼吸系器官の基本的構造と機能を理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第10回	消化と吸収 1：関連臓器（口腔、食道、胃、小腸、大腸、膵臓、肝臓）の構造と機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分

第11回	消化と吸収2：食欲、味覚、摂食、消化・吸収という“食べる”仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第12回	栄養と代謝：栄養、代謝、および栄養と代謝の関係の概要を理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第13回	尿の生成・排泄：関連臓器(泌尿器：腎臓,尿管,膀胱,尿道)の構造と機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第14回	体温調節：皮膚および脳内視床下部の温度受容器による体温調節機構を理解する。 皮膚：皮膚の構造と働きを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第15回	内分泌：内分泌の担い手であるホルモンを生成する臓器の種類、構造、機能を知る。 性と生殖：性と生殖の意味、および生殖器の構造と機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分

授業科目名	子ども家庭支援の心理学			科目コード	C121-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育の心理学		後継科目	子どもの理解と援助 教育相談					
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	生涯発達の見点から人の発達のプロセスや初期経験の重要性を学ぶ。また、親子関係や家族関係等について発達的な観点からの理解、および、子育て家庭をとりまく現代の社会的状況や問題についての理解と関心を深め、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。								
学習目標	1.生涯発達に関する心理学の基礎知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。2.家族・家庭の意義や機能を理解するとともに親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。3.子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。4.子どもの精神保健とその課題について理解する。5.子どもと子育てに関する現代的な課題に関心を持ち子ども、保護者への心理学的理解が深まる。								
キーワード	生涯発達 初期経験 家族関係発達 子育て家庭 子育てをめぐる課題 子どもの精神保健 保護者理解								
テキスト・ 参考書等	青木紀久代「子ども家庭支援の心理学」(みらい) 参考書 草野いづみ「みんなで考える家族・家庭支援論」(同文書院)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得ができる								
LO-2	(技術)子ども家庭支援に必要な基礎的心理技術を習得できている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学修した知識や技術を、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考することができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業への意欲・関心をもって主体的に学んでいる								
LO-5	〔人間性・社会性〕子ども、保護者、仲間を尊重する視点をもち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	20		10		10	60			100
LO-1	20					20			40
LO-2					5	20			25
LO-3			10			10			20
LO-4					5	5			10
LO-5						5			5
備考	Aは毎授業後のワークシート及び振り返りシートの内容								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 生涯発達の見点	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認	20分
	【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り	90分
第2回	乳幼児期から学童期前期の発達	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第3回	学童期後期から青年期の発達	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 教科書に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第4回	青年期から老年期の発達	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り、教科書を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第5回	家族・家庭の意義と機能	
	【予習】教科書の該当ページを読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分
第6回	親子関係・家族関係の理解	
	【予習】教科書の該当箇所を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第7回	子育てを取り巻く社会状況	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第8回	子育てを取り巻く社会状況	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分
第9回	子育ての経験と親としての育ち	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分
第10回	ライフコースと仕事・子育て	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分

第11回	多様な家族とその理解	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使った教科書やプリントの見直し	90分
第12回	子どもの生活・生育環境とその影響	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使った教科書やプリントの見直し	90分
第13回	特別な配慮を要する家庭	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使った教科書やプリントの見直し	90分
第14回	発達支援の必要な子どもがいる家庭	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理	90分
第15回	子どものこころの健康にかかわる問題	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	160分
	【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理	90分

授業科目名	子どもと社会			科目コード	C111-21				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	高木 三郎					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育原理、保育原理、子ども家庭福祉		後継科目						
関連科目	保育者論、子ども家庭支援論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く社会環境における現代的なトピックをとりあげ、その現状と課題について考える。また、そのような社会の中で、子どもの人権・福祉が守られ、心身ともに健やかに育つために必要とされる、教育・福祉に関する理念や法制度、さらには行財政の仕組みなどへの理解を深める。講義の中には外部講師による解説や、グループによる課題探究活動、討議・発表を織り込む。								
学習目標	保育者として、現代の子どもを取り巻く社会的問題への総合的な認識を深めるとともに、個々の問題への解決力を身につける。								
キーワード	法・制度 人権 福祉 社会的弱者 子ども								
テキスト・ 参考書等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書は特に無し。各回の講義ごとにプリントを配布する。 保育所保育指針、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<ul style="list-style-type: none"> 保育について学ぶことへの構えを持っている。 教授内容を理解し、まとめる言語能力を持っている。 								
LO-2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや感情を的確に文章や音声に表現できる技術を身につけている。 他者との望ましい人間関係を築くための技法を身につけている。 								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> 保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができる。 情報を批判的にとらえ、主体的に判断することができる。 								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価、相互評価をとおして、自らの成長に生かすことができる。 新聞、書物などの読書、資料収集をとおして、保育者としての生き方を深めることができる。 								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> 班別の協議、発表、作業に積極的にに関わり、自らを表現することにより、他者との協働を図ることができる。 他者との共感性をもって関わることができる。 								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			35	35	20	10			100
LO-1			15	15					30
LO-2			10	10	10				30
LO-3			10	10	10				30
LO-4						5			5
LO-5						5			5
備考	<ul style="list-style-type: none"> その他Aは班別作業への参加。 成果発表については、コメントを返す。 提出されたレポートや作品については、優秀なものを学生に提示する。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業概要と授業の進め方）	
	【予習】シラバスを確認しておく	60分
	【復習】保育所・幼稚園の抱える課題を書き出し、まとめる。	90分
第2回	・子どもの育ちを支える法・制度（1回目） 保育所に関する制度と課題を理解する。	
	【予習】保育所に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	90分
	【復習】保育所に関する制度と課題を整理しておく。	90分
第3回	・子どもの育ちを支える法・制度（2回目） 幼稚園に関する制度と課題を理解する。	
	【予習】幼稚園に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	90分
	【復習】幼稚園に関する制度と課題を整理しておく。	90分
第4回	・子どもの育ちを支える法・制度（3回目） 認定こども園及び子育て支援新制度に関する制度と課題を理解する。	
	【予習】認定こども園及び子育て支援新制度に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	90分
	【復習】認定こども園及び子育て支援新制度に関する制度と課題を整理しておく。	90分
第5回	・子どもの育ちを支える法・制度（4回目） 外国の保育制度について理解を深める。（とくに、スウェーデンとフランスを取り上げる）	
	【予習】スウェーデンとフランスについて知っていることをまとめておく。	90分
	【復習】外国の保育制度と日本の保育制度の相違点と共通点を整理しておく。	90分
第6回	・保育におけるリスクマネジメント（1回目） 保育現場の園長から講義を聞き、保育現場におけるリスクマネジメントの重要性を理解する。	
	【予習】保育実習中のヒヤリハットをまとめておく。	90分
	【復習】保育現場におけるリスクマネジメントの重要性についてまとめておく。	90分
第7回	保育におけるリスクマネジメント（2回目） 保育におけるリスクマネジメントの考え方に対する理解を深め、場面別の予防と対策を考える。	
	【予習】保育現場でリスクとなるものをまとめておく。	90分
	【復習】保育におけるリスクマネジメントの考え方をまとめておく。	90分
第8回	保育におけるリスクマネジメント（3回目） 保育におけるリスクコミュニケーションの重要性を理解し、ワークショップで理解を深める。	
	【予習】保育における保護者対応の留意点を、保育所保育指針で確認しておく。	90分
	【復習】リスクコミュニケーションの重要性を、保育所保育指針と結びつけてまとめておく。	120分
第9回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	経営管理論			科目コード	M112-13				
科目区分	専門科目 - 経済・経営科目 - 経営	担当教員名	木元 清明						
実務経験	パナソニック株式会社 国内営業企画10年、海外事業企画27年を経験。								
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	経営学の基礎	後継科目							
関連科目	日本経済論 金融論 マーケティング演習 経営学特講								
資格等 取得との関連	上級ビジネス実務士()、上級情報処理士()、ウェブデザイン実務士(-)、 ビジネス実務士()、 情報処理士()								
授業の概要	企業は「ヒト」「モノ」「カネ」という経営資産に加えて「情報」を活用しながら、その組織の効率的な目標達成に向けて調整・統合を繰り返しています。つまり、経営資源をバラバラに活用するのではなく、いかに上手く組み合わせるのかによって企業の業績は大きく左右されるのです。この授業では、1年前期で学習した「経営学の基礎」をベースにして、経営資源の各分野における管理および統合戦略の知識を詳細に学びます。難しそうな用語が出てきますが、実際の実例を紹介しな								
学習目標	現代企業の経営管理を学説や事例を通して学ぶことにより、経営学や経営管理が企業経営において果たす役割について理解すること								
キーワード	組織構造、個人と集団、戦略論、リーダーシップ								
テキスト・ 参考書等	テキスト： 塩次喜代明・高橋伸夫・小林敏男（2012） 「経営管理」 有斐閣アルマ 参考図書：								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】 経営管理に関する基礎用語と基礎理論を理解し、試験とレポートで正しく答えることができる								
LO-2	【技能・表現力】 講義と自学習で理解した内容を、Webコメントやレポートで論理的かつ的確に論述することができる								
LO-3	【思考・判断力】 経営管理を取り巻く諸問題を発見し、基礎理論から分析した結果をWebコメントやレポートに反映できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】 経営管理や企業活動に関心を持ち、問題点や事例の情報を収集し、Webコメントやレポートに反映できる								
LO-5	【人間性・コミュニケーション力】								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		40						100
LO-1	20		10						30
LO-2	10		20						30
LO-3	20		5						25
LO-4	10		5						15
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」： 授業方針の説明 シラバス、ルーブリックを把握して成績評価方法を理解する 本科目の概要と基本用語を理解する	
	【予習】シラバスを読み授業内容を把握	30分
	【復習】授業の全体像を確認する	60分
第2回	「経営の誕生と経営管理」 現代の企業社会とはなにか 企業の発展と経営管理	
	【予習】教科書を13ページまで読んでおく 日本の経済規模（GDP）や企業数がいくつあるかを調べてみる	60分
	【復習】経済発展の鍵を握るのは企業活動であり、企業が経済活動の主体であることを理解する	60分
第3回	「管理の生成と発展（第一回）」 管理の時代 近代企業の登場と、企業における所有と支配の分離 財閥の形成と解体および企業集団の形成と、企業合併・買収のブーム	
	【予習】教科書16ページから41ページまで読んでおく 財閥という存在について関連図書やネットで情報を集めてみる	60分
	【復習】専門経営者の登場について歴史的背景を参考にしながら時間軸で理解する	60分
第4回	「管理の生成と発展（第二回）」 経営管理の発展 資本主義と企業の発展 経営管理の諸理論	
	【予習】教科書42ページから62ページまで読んでおく アダム・スミスの「国富論」について関連図書やネットで調べてみる	60分
	【復習】企業の生産性と創造性をより深く探求する理論として経営管理論が出現した経緯を理解する	60分
第5回	「環境適応の管理（第一回）」 組織のデザイン 機能別組織と事業部性組織の登場 日本型組織デザインと組織の横連携	
	【予習】教科書64ページから89ページまで読んでおく 自分が興味を持つ大企業のHPをみて、その企業の組織構造がどうなっているか調べてみる	60分
	【復習】企業の発展に連動して企業内部の組織構造は大きく変わっていくことを理解する	60分
第6回	「環境適応の管理（第二回）」 経営戦略 戦略と組織の適合性と企業ドメインの設定 競争戦略とグローバルな展開	
	【予習】教科書90ページから114ページまで SWOT分析やPPMという手法について関係図書やネットで調べておく	60分
	【復習】経営戦略は企業経営の指針であることを理解する	120分
第7回	「環境適応の管理（第三回）」 資源の管理 企業経営の経営資源である「ヒト」「モノ」「カネ」+「情報」の4要素のシステム化と管理	
	【予習】教科書115ページから137ページまで読んでおく 企業経営における「資源」とは何かを調べておく	120分
	【復習】企業経営にとって「資源」の確保がいかに重要であることを再確認する	90分
第8回	「環境適応の管理（第四回）」 組織間関係の管理 グローバルなメガ・コンペティション状況と日本におけるこれまでの組織間関係 戦略的提携の諸形態	
	【予習】教科書138ページから162ページまで読んでおく M&Aに関して関係図書やNETで調べてみる	60分
	【復習】日本企業の戦略的提携の背景と課題を理解する	60分
第9回	「変革の管理（第一回）」 モティベーションと組織活性化 企業という組織を支える人的要因（金銭報酬だけでは説明できない従業員のモチベーション維持と向上） 組織の活性化	
	【予習】教科書164ページから187ページまで読んでおく 人が企業で働く際に、どのような要因で「やる気」を持つのか、あるいは失うのかを考えてみる	60分
	【復習】企業という組織を支えているのは従業員であり、その「やる気」の維持発展が業績拡大への最大のポイントであることを理解する	60分
第10回	「変革の管理（第二回）」 経営のリーダーシップ リーダーの資質と役割行動 経営ミドル層のリーダーシップとトップのリーダーシップ	
	【予習】教科書188ページから207ページまで読んでおく 企業だけではなく、組織のリーダーに求められる資質を考えてみる	60分
	【復習】リーダーの資質と行動が企業の活力と創造性を生む源泉であることを理解する	60分

第11回	「変革の管理（第三回）」 企業文化の創造と変革 企業にも人の個性と同じような「固有の文化=企業文化」がある（事例の紹介） 企業文化の4つの類型	
	【予習】教科書208ページから226ページまで読んでおく 自分が興味を持っている企業の「社是」、「経営理念」、「経営哲学」、「経営行動基準」、「経営標語」などについて、その企業のHPなどを利用して調べてみる	60分
	【復習】企業には企業文化とい「見えざる秩序と構造」があり、この概念が企業を特徴づけていることを理解する	60分
第12回	「現代の経営管理と展望（第一回）」 日本の経営管理 日本的経営の特殊性	
	【予習】教科書228ページから254ページまで読んでおく 終身雇用について関係図書やネットで調べてみる	60分
	【復習】日本の企業における経営管理には日本文化に根ざした特殊性があるが、グローバル時代との整合性に関して理解する	60分
第13回	「現代の経営管理と展望（第二回）」 グローバル戦略 企業の多国籍化 グローバル経営	
	【予習】教科書255ページから274ページまで読んでおく 多国籍企業とは自国のみならず複数の海外拠点をもって活動している企業であるが、日本の代表的企業を取り上げてホームページなどから海外拠点展開の状況を調べてみる	60分
	【復習】著名企業の多国籍化とグローバル化について理解する	60分
第14回	「現代の経営管理と展望（第三回）」 育てる経営の管理 管理から経営へ 育てる経営	
	【予習】教科書275ページから最後まで読んでおく 今までの授業を振り返って、これからの企業に必要な管理について問題点と課題を考えてみる	60分
	【復習】今までの授業の総復習を行い、理解の浅い部分について再学習する	120分
第15回	本授業で期末試験（45分程度）を実施し、試験終了後に授業アンケートに答えて退室する	
	【予習】試験対策のまとめ	120分
	【復習】	180分

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関 好博					
実務経験	社会福祉協議会で地域福祉の支援を担当。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高齢者福祉論、社会保障、生活支援技術		後継科目	なし					
関連科目	介護福祉論、生活支援技術、社会保障、認知症ケア論、障害者ケア論、介護過程、介護過程、介護福祉総合演習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護の対象となる高齢者・障害者の特性、介護実践の場の特性を踏まえて、高齢者を支援する組織と役割、高齢者支援の方法と実際について学習する。								
学習目標	高齢者保健福祉制度を体系的に把握し、介護保険制度の基本的理解やサービスの体系について習得する								
キーワード	高齢者支援組織 高齢者支援方法 介護予防								
テキスト・ 参考書等	社会福祉士要請講座編集委員会 「高齢者に対する支援と介護保険制度」 新・社会福祉士養成講座13 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	高齢者の特性や現代社会における高齢者の生活実態について考察でき、高齢者保健福祉制度に影響を及ぼした社会的要因を探り、介護保険制度を中心とした高齢者支援内容を理解できる								
LO-2									
LO-3	グループで意見交換することで高齢者支援に対する視点を共有し、高齢者福祉制度の内容について理解できる								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4									
LO-5									
備考	筆記試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	行政機関の役割、指定サービス事業者・国保連の役割、地域包括支援センターの組織体系と役割、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】国・都道府県・市町村の役割、指定サービス事業者の役割、国保連の役割、地域包括支援センターの目的と設置主体・活動の実際・職員配置・運営協議会についての理解を深める	90分
第2回	社会福祉協議会、ボランティア団体・非営利民間活動、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】社協と社会福祉法の関係、社協がこれまで果たしてきた役割と活動の実際、事業型社協、社協による小地域福祉活動、日常生活自立支援事業、NPOならびにNPO法への理解を深める	90分
第3回	高齢者支援の方法、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】高齢者理解の方法、個人・家族に対する相談援助、グループを活用した相談援助、地域を活用した相談援助、ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、高齢者支援における留意点についてまとめておく。	90分
第4回	介護保険法における連携と実際	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】テキストの事例について自分の考えを深める	90分
第5回	公開セミナー（福祉・介護フォーラムを読み替え）	
	【予習】介護福祉士のこれからの役割について調べてくる。	90分
	【復習】レポートをまとめる。	90分
第6回	専門職の役割と実際、専門職による協働、専門職の倫理	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】専門職の役割と協働、専門職の倫理についてまとめておく。	90分
第7回	介護の概念と範囲、介護の理念	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】介護の概念と範囲、介護の実践構造、介護の目的価値・手段的価値、専門職倫理について自分の考えをまとめる。	90分
第8回	介護の対象、介護予防の概念、今後に向けた介護人材確保対策	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】介護の対象者、利用者の理解、生活の理解と家族支援、介護活動の場の理解、介護保険制度改正と介護予防、介護予防の対象と基本的な考え方、これからの介護予防、介護人材の推計、求められる介護人材のキャリアパス、介護人材確保対策の状況を整理する。	90分
第9回	介護過程の概要、介護過程の展開技法	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】介護計画、アセスメントの視点と対象、事実と情報、介護過程の展開の実際などをまとめておく。	90分
第10回	自立に向けた介護、家事における自立支援、身支度・移動・睡眠の介護、食事・口腔衛生の介護、入浴・清潔・排せつの介護	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】いろいろな生活支援技術についてまとめておく。	90分

第11回	認知症ケア1	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】認知症の理解、認知症の症状と認知症介護、認知症の人とその家族を支えるに関して整理しておく。	90分
第12回	認知症ケア2	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】新オレンジプラン、認知症ケアの実際について整理しておく。	90分
第13回	終末期ケア、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】終末期ケアをめぐる概念の変遷、高齢者の終末期の特徴、高齢者の終末期ケアの基本的な考え方、高齢者の終末期ケアの具体的展開、終末期ケアの実際についてまとめておく。	90分
第14回	住環境、近未来の高齢者福祉問題	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】家族との関係や居住環境、高齢者に対する住環境整備、高齢者の住宅問題、在宅生活継続の住環境整備と課題についてまとめておく。	90分
第15回	後期のふりかえり	
	【予習】該当する国試ナビのページに目を通してくる。	90分
	【復習】国試ナビを使って理解を深める	90分